

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 4 - (3)

政策体系	施策名	まちの魅力を高める交通ネットワークの構築	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画頁	165
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

### 【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	産業や生活を支える道づくりの推進	快適な都市空間の形成	利便性の高い公共交通サービスの充実

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
主要渋滞箇所対策を講じる箇所数(箇所)		H26	-	16	15	93.8%	21	30	■	■	■	■	■	■

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
概ね達成	庄の原佐野線(元町・下郡工区)宗麟大橋の開通などにより、目標値を概ね達成した。	概ね達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・三重弥生線山部工区などの開通により、集落間の連携・交流が促進された。
	・大分市の骨格を形成しICへのアクセスを向上させるため、(都)庄の原佐野線元町・下郡工区に続き、下郡工区に着手した。 ・「リボーン197協議会」の提言に基づき県都の顔となる国道197号の再編工事に着手した。
	・バスなび大分やバスロケおおいた、交通系ICカードの広報を行い、県民への周知を行った。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト (千円)	事務事業評価		主要な施策の 成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	(公)道路改良事業	15,741,638	-	-	241
	道路改良事業	3,719,987	-	-	242
	街路事業	3,097,125	-	-	243
	共生のまち整備事業	80,000	-	-	225

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>土木建築委員会への市町村長要望(H29.6)</p> <p>・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成に向け、整備促進をお願いしたい。</p> <p>・国道197号の鶴崎橋、乙津橋4車線化の早期工事着手に配慮をお願いしたい。</p> <p>滝尾・明野地区促進期成会からの要望(H29.6)</p> <p>・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成を強く要望する。</p>	<p>大分県商工会議所連合会知事要望(H29.10)</p> <p>国道197号鶴崎拡幅、並びに国道442号宗方拡幅の早期整備。</p>
--	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・国道212号(響峠)や主要地方道中津高田線(今津)など産業・生活を支える道路や、県道古江丸市尾線(葛原～丸市尾)など集落間の連携・交流を支える道路整備を引き続き推進する。</p> <p>・大分都市圏をはじめとした都市部において未だ慢性的に渋滞が生じている箇所も多いことから、国道197号(鶴崎拡幅)等の整備を進め渋滞緩和を図る。</p> <p>・湯けむり景観を向上させる別府市鉄輪地区の国道500号の無電柱化など、快適な都市空間の形成を図る。</p>